

◆笠間市民憲章及び花・木・鳥の制定(案)について—公開資料③

《花・木・鳥の案及び説明》

笠間市の花・木・鳥(案)

○ 市の花 「きく」

笠間市は、菊祭りや菊人形が有名で伝統があります。一方市内では農業生産としての菊の栽培が盛んに行われております。また、きくは、旧笠間市と旧友部町の花であったことから、市民に親しまれている花といえます。これらのことから笠間市のシンボルとしてふさわしい花です。

○ 市の木 「さくら」

笠間市内には愛宕山、北山公園、佐白山など、桜の名所が数多くあり、春には花が市内全域を網羅して咲き誇ることから、各所で桜まつりが行われております。また、さくらは、旧岩間町の木であったことから、市民にとって極めて身近な樹木といえます。このようなことから、笠間市のシンボルとしてふさわしい木です。

○ 市の鳥 「うぐいす」

笠間市全域に生息しているうぐいすは、鳴き声が美しく、春の訪れを感じさせてくれます。自然環境に恵まれた笠間市をイメージできます。また、うぐいすは、旧友部町の鳥であったことから、市民にとって身近で親しまれている鳥といえます。このようなことから、笠間市のシンボルとしてふさわしい鳥です。

笠間市の花・木・鳥(選定理由)

○ 市の花 「きく」

市民からの応募において、応募総数 105 件のうち 76%を占め、市内小中学校各クラスからの応募では応募総数 129 クラスのうち 63%を占める結果となっています。その内容を見ると旧 3市町すべての地域で圧倒的多数を占める応募結果となっています。主な応募の理由は、菊祭りや菊人形が有名で伝統がある。清楚で美しく気品がある。また、市内は菊栽培が盛んである等であり、これらの理由や、旧笠間市、旧友部町の花であったことから、市民に親しまれている花といえます。これらのことから、笠間市の花として選定しました。

○ 市の木 「さくら」

市民からの応募において、応募総数 105 件のうち 49%を占め、市内小中学校各クラスからの応募では応募総数 133 クラスのうち 56%を占める結果となっています。主な応募の理由は、市内には愛宕山、北山公園、佐白山と、桜の名所が多い。春に花が咲くことから、スタートのイメージがある。また、春には市内全地域を網羅して咲き誇ることから、各所で桜まつりが行われている等であり、これらの理由や、旧岩間町の木であったことから、市民にとって極めて身近な樹木といえます。このようなことから、笠間市にふさわしい木として選定しました。

○ 市の鳥 「うぐいす」

市民からの応募において、応募総数 105 件のうち 51%を占め、市内小中学校各クラスからの応募では応募総数 126 クラスのうち 57%を占める結果となっています。主な応募の理由は、鳴き声が美しく、自然を感じすがすがしい。市内全域に生息している。春の訪れを感じさせる。自然が多い笠間市にふさわしい等であり、これらの理由や、旧友部町の鳥であったことから、市民にとって身近で親しまれている鳥といえます。このようなことから、笠間市の鳥として選定しました。